

建築プログラム教育改善ネットワーク

・専門教育部門

1) 専門教育連携 WG

建築計画分野、建築環境分野、建築構造・生産分野の各分野で、工学部が母体となって編集する教員による自己点検レポートを収集し、問題点や科目間連携等について点検評価を行う。その結果に基づいて、主に「基準2：教育手段」について改善案を検討する。

2) 講義・成績資料点検 WG

各講義の講義・成績資料（保存用）の点検を実施し、不備等の報告および改善依頼を行う。また、主に「基準3：学習・教育到達目標の達成」について改善案を検討する。

・社会要請部門

1) 社会要請検討 WG

企業・卒業生・非常勤講師経験者（実務者）へのアンケート（3年に1回）、求人企業採用担当者との面談、その他の社会の要請を汲み取る方法の計画および実施を行う。また、その結果に基づき主に「基準1：学習・教育到達目標の設定と公開」の妥当性を評価し、改善案を検討する。

・学生支援部門

1) 学生支援 WG

担任の面談記録その他から学生の要望を整理・分析し、教育プログラム関係箇所の点検を行う。また、その結果に基づき、改善案を検討する。

※達成度確認ツール WG については、2013年度より利用開始した「履修計画・達成状況チェックシート」に問題がないことを一定期間（約5年間）で確認できたため、同チェックシートの点検は学生支援 WG で実施することとし、2019年に学生支援 WG に統合した。

・教育環境部門

1) 施設・環境改善 WG

「基準2.5：教育環境・学習支援環境」について点検・評価し、改善案を検討する。

建築プログラム教育改善ネットワーク図 (H31～)

